

「5つの元気プロジェクト」と「3つの夢プロジェクト」による施策展開

《勿来地区》

【震災からの復興・再生】

- 「小浜・岩間震災復興土地区画整理事業」
 - 岩間地区の宅地引き渡しに続き、岩間地区は平成30年3月までに全ての宅地の引き渡しが可能となるよう鋭意取り組んでいきます。
- 「被災消防団施設整備事業」（平成29年度完成予定）
 - 安全・安心なまちづくりを進めるため、震災で被災した消防団施設を整備します。
- 「主要市道橋耐震化事業」（平成31年度に耐震化工事予定）
 - 関田跨線橋の耐震化について、平成30年度にJR東日本と協定を結び、平成31年度にJR東日本に委託し耐震補強工事を実施します。

【「医・職・住」の深化】

- 「南部火葬場の整備」（平成30年秋ごろ全面供用開始予定）
 - 本年6月に火葬棟を供用開始しましたが、待合室や駐車場を整備し、平成30年秋ごろには全ての施設の供用を開始します。
- 「勿来バイパスの整備促進」（平成36年ごろ完成見込）
 - 産業基盤の整備を図るため、勿来地区（勿来町四沢～北茨城市関本町 L=4.4 km）の整備を進めます。
- 「常磐バイパスの4車線化」（平成29年度完了予定）
 - 産業基盤の整備を図るため、勿来地区（勿来町四沢～錦町雷 L=0.8 km）の4車線化を進めます。
- 「小名浜道路の整備促進」（平成30年代前半）
 - 高速道路から小名浜地区まで直結する道路を整備することにより、企業誘致や雇用の促進等につなげていきます。
※ L=8.3 km（泉町下川大剣～山田町塙）、全区間無料
- 「石炭ガス化複合発電（IGCC）設備を採用した最新鋭の石炭火力発電所の建設」（平成32年9月の運転開始を目指す。54万kW）
 - 東京電力㈱による石炭ガス化複合発電（IGCC）設備を採用した最新鋭の石炭火力発電所の建設については、建設に伴う経済効果や新たな雇用の創出、石炭の国際バルク戦略港湾及び特定貨物輸入拠点港湾に指定されている小名浜港の更なる利用促進など、地域経済の復興・再生に寄与することが期待されることから、事業の着実な推進に向けて対応していきます。

【子育て先進教育都市の実現】

- 「放課後児童クラブの整備」（平成29年12月完成予定）
 - 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、遊びの場等を提供し、児童の健全な育成を図ります。具体的には植田小学校及び汐見が丘小学校に放課後児童クラブを整備します。